

2.15.4. その他の活動

[ゼミ・卒業研究について]

密度の高い指導および深い議論を目的とし、3年生後期より、学生は2人の教員から主担当となる教員を決め、卒業研究までの指導を受けるといふ、講座内における大講座制を実施している。それにより、学生間に研究テーマへの意識を早期から持たせ、研究テーマの早期決定および3年次前期からの卒業研究体制を試みている。本講座では、大講座的な実施を行いながらも、定期的に全体でのゼミを実施し、発表形式による相互の情報交換や議論を行う機会を設け、小講座制と大講座制の長所を取り込める形を目指している。

本年度は、卒論提出者が全員学会発表を行うことができた。

[コミュニケーション能力の向上について]

小講座制・1年生からの講座配属という特長を生かし、縦割りのチームを編成して学年を横断するレポートチェックやイベントなどに取り組む試みを行った。1つのチームには1年生から大学院生まで各学年1名ずつ所属し、レポートを提出する際には、上級生のチェック・署名がなければ提出できない。また、イベントの企画や文献管理といったことも、チームごとにローテーションで携わり、全員が関わるような体制を試みた。